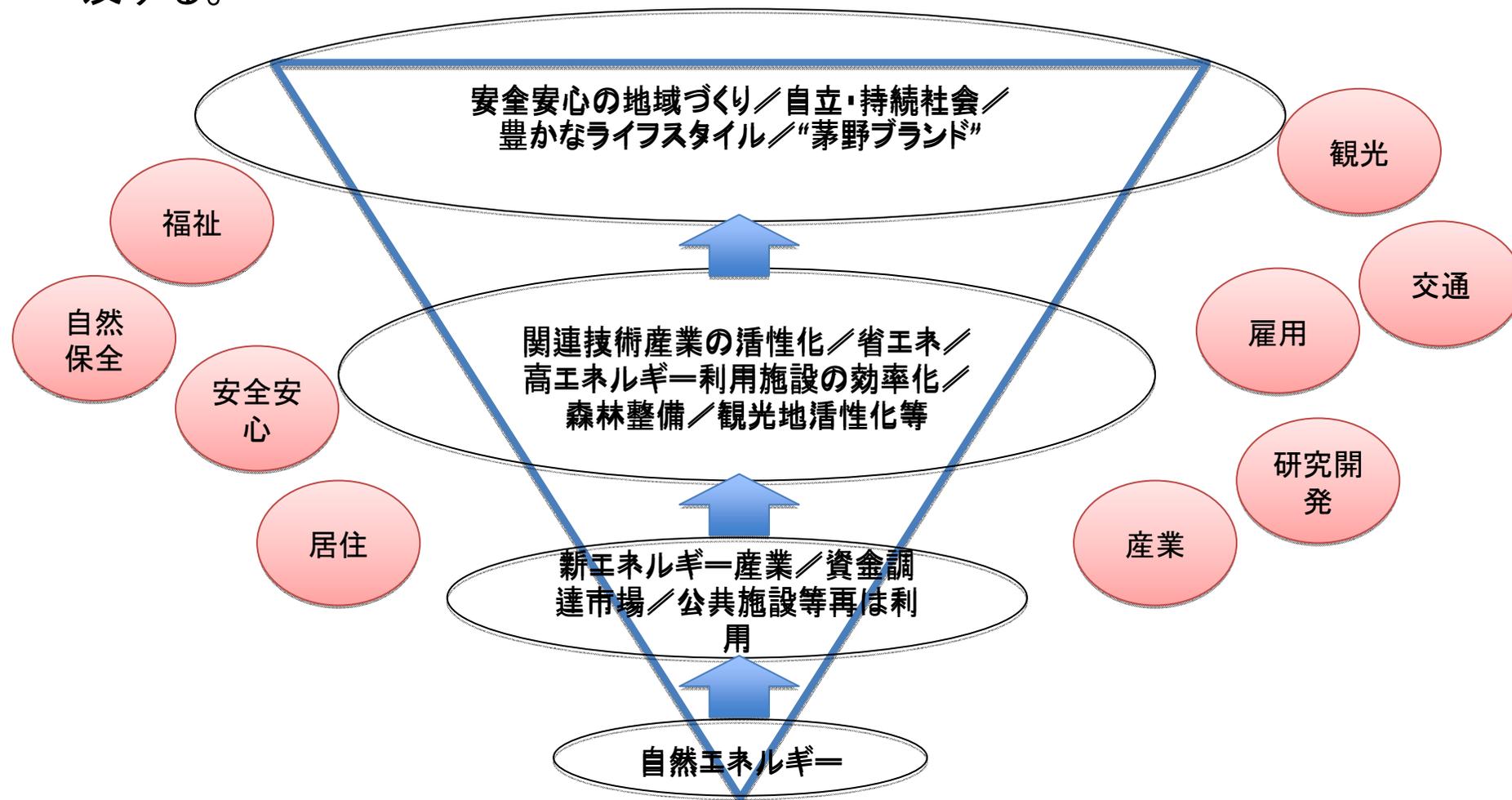


自然エネルギー茅野地域協議会発足の背景

- ・ 茅野市は、豊かな自然に恵まれ、日本の中でも太陽光、小水力、バイオマス等の自然エネルギーのポテンシャルが高い地域。
- ・ 産業は、精密工業等のものづくり(工業)が中心で、発電や熱利用、LSI等、エネルギー産業の基盤技術をもった企業が集積している。
- ・ 観光は、年間300万人の観光客を集め、大手ディベロッパーによる別荘が、約10,000棟建設され、潜在的なコミュニティ(市場)を形成している。
- ・ 医療福祉連携や市民協働のまちづくりが先進的に進められている。
- ・ 諏訪東京大学が立地し、産学連携、研究開発のプラットフォームがある。

協議会の発足の背景_エネルギー事業の波及効果

- ・自然エネルギーの普及は、幅広い産業・雇用創出から、地域ブランドづくりに波及する。



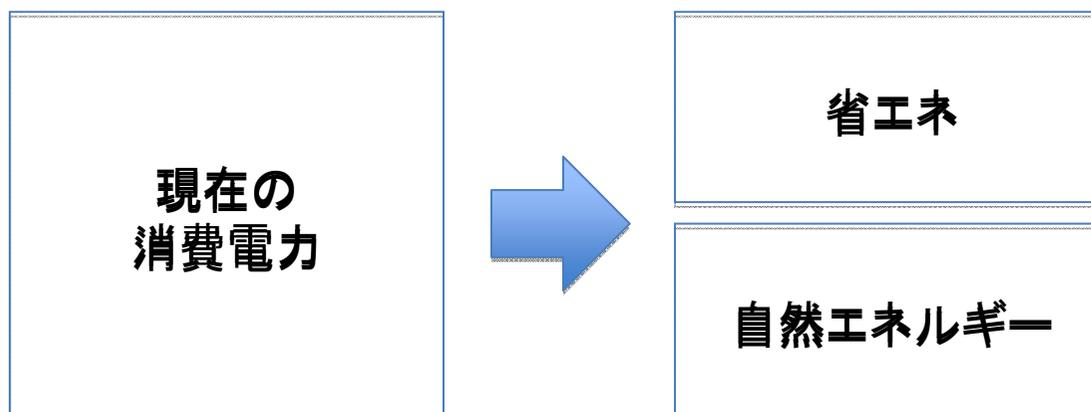
協議会の目的

茅野地域は、自然エネルギーと自然資源に恵まれ、市民や多くの都市住民が、自然豊かな居住・ライフスタイルを実現する地域である。

また、精密等のものづくり企業、別荘やレジャー施設等の滞在型観光施設と交流人口の集積、諏訪東京理科大学等の産官学民連携の社会基盤が構築されつつある。

一方、東日本大震災により、自然エネルギーと持続可能社会について社会的要請が高まりをみせている。

本協議会は、茅野市の自然エネルギーの普及環境が、日本の各地域の中でも突出していることに着目し、自然エネルギー事業の普及と利用の促進、及びスマートグリッド等の先端的なエネルギーマネジメント等、需要と供給の2つの視点から研究、実証を通して、エネルギー供給が0となる世界初の“0エネルギーシティ”の実現を大きな目的とする。



協議会の概要

名 称: 自然エネルギー茅野地域協議会

構成員:

会長 山本 永 茅野まちづくり研究所有限責任事業組合理事
理事(五十音順)

葦木 美咲 MEGAMI MUSIC

天野 輝芳 諏訪東京理科大 教授

加藤 貴義 三菱UFJリサーチ&コンサルティング

鈴木 純一 カラマツストーブ普及 LLP

高山 光弘 総合環境研究所 所長

オブザーバ 小平 雅文 茅野市市民環境部生活環境課

アドバイザー: 稲澤(国際協力銀行)、清水建設、他

協議会の活動

研究会の活動

1. 茅野市の自然エネルギー事業モデルの構築
 - ①メガソーラー施設
 - ②小水力施設
 - ③バイオマス施設
 - ④地中熱(ヒートポンプ)
2. 事業計画の策定
3. 市民ファンドの検討

事業計画

平成23年度

1. 自然エネルギー環境・観光拠点(蓼科ダム計画／金沢工業団地)
 - ・信州ネットソーラ一年金部会(環境省事業)で検討
 - ・メガソーラー施設+ α
 - ・全量買取制度での事業構築
 - ・企業との連携

平成24年度

1. 公共施設(市温泉、保育園、市有施設等)への導入
 - ・市民ファンド型(ファンド組成についてはソーラ一年金部会で検討)
 - ・熱利用(バイオマス、ヒートポンプ)
2. 農業、観光施設への導入(独自検討)
 - ・小水力施設
 - ・農業ハウス等の熱利用
3. 電気自動車ステーション(独自検討)